

様式 A 英語表現 I（高橋昌由）

科目にかかわる情報				
科目の 基本 情報	授業科目 (欧文)	英語表現 I English Expression I		単位 2
	一般・専門の別・ 学習の分野	一般・英語	授業形態・学期	講義・通年
	対象学生	1 年共通	必修・必履修・ 履修選択・選択の別	必履修
	担当教員・所属系	高橋昌由・総合理工学科先進科学系		
科目の 学習・ 教育内 容にか かわる 情報	基礎となる学問分野	英語・英米文学／言語学・音声学		
	学習教育目標との関 連	本科目は「①教養豊かな実践的人間力の育成」, 「⑤グローバルな視点と社会性の養成」, 「⑦コミュニケーション力・プレゼンテーション力の育成」に相当する科目である。		
	技術者教育 プログラムとの関連	本科目が主体とする学習・教育到達目標は「(F) コミュニケーション能力, プレゼンテーション能力の育成」であるが, 付随的には「(B) 地球的視野に立った人間性の育成」に関与する。		
	授業の概要	教科書の内容・文法の順に学習し, スピーキング, ライティングの表現活動を行う。またそのためのスキルを磨く。		
	学習目的	基礎的な自己表現活動ができるようになる。		
	到達目標	1. 英語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身につけ, 自分や身近なことについて理解したり伝えたりすることができる。 2. 高等学校指導要領に示されているレベルの文法事項や構文語彙を習得し英語表現に利用することができる。 3. 英文を正しく音読することができる。 4. 学習内容をふまえて英語で自己表現ができる。 5. 上記に資するように, 精読、速読、多読等のスキルを高める。		
履修上の注意		課程修了のため履修が必須である。		
履修のアドバイス		予習, 復習の内容を明確にするので指示に従いきっちり取り組むこと。		
基礎科目		中学までの英語授業 英語 I (1 年)		
関連科目		英語 II (全系 2 年) 英語表現 II (全系 2 年)		

授業にかかわる情報			
授業の方法		授業では音読活動や表現活動など様々な活動をペアやグループなど様々な形態で行うことが中心で、積極的な参加が望まれる。また多読等も取り組む。	
授 業 計 画	開講週		内容〔項目〕(指示事項)
	前 期	1 週	ガイダンス
		2 週	Lesson 1
		3 週	Lesson 1
		4 週	Lesson 2
		5 週	Lesson 2
		6 週	Lesson 3
		7 週	Lesson 3, 音読テスト/ インタビューテスト, 課題提出
		8 週	前期中間試験
		9 週	前期中間試験の返却と解答解説, Lesson 4
		10 週	Lesson 4
		11 週	Lesson 4
		12 週	Lesson 5
		13 週	Lesson 5
		14 週	Lesson 5, 音読テスト/ インタビューテスト, 課題提出 (前期末試験)
		15 週	前期末試験の返却と解答解説
	後 期	16 週	Lesson 6
		17 週	Lesson 6, Lesson 7
		18 週	Lesson 7, Lesson8
		19 週	Lesson 8
		20 週	Lesson 9
		21 週	Lesson 9, 音読テスト/ インタビューテスト, 課題提出
		22 週	(後期中間試験)
		23 週	後期中間試験の返却と解答解説, Lesson10
		24 週	Lesson10
		25 週	Lesson 10
		26 週	Lesson 11
		27 週	Lesson11, Lesson 12
		28 週	Lesson 12
		29 週	Lesson 12, 音読テスト/ インタビューテスト, 課題提出 (後期末試験)
30 週		後期末試験の返却と解答解説	
教科書, 教材等		教科書: 文部科学省検定教科書 Revised Vision Quest English Expression 1 Standard 参考書等: Vision Quest 総合英語 Ultimate, Revised Vision Quest Standard ワークブック, Revised Vision Quest Standard 生徒用音声 CD, Revised Vision Quest Standard 高校英語入門 New Edition, Sonic Reading Stage①	

成績評価方法	4回の定期試験の結果を同等に評価する（50%）。「平素の演習・小テスト・音読テストなどのパフォーマンス評価・授業への積極的参加（課題提出を含む）・多読・長期休暇課題等」（50%）との総合計により評価する。最終成績に関しては、4回の評定の平均を9割に換算して、GTEC ライティングパートの結果を10%加算する。再試は原則として行わない。						
受講上のアドバイス	積極的に発言し、活動へ参加すること。遅刻について：授業時間の10分を過ぎるの入室は欠課扱いとする。遅刻が頻繁な場合、欠課に換算することがある。						
ルーブリック							
	優	良	可	不可			
評価項目1	英語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身につけ、自分や身近なことについて理解したり伝えたりすることがよくできる。	英語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身につけ、自分や身近なことについて理解したり伝えたりすることができる。	英語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身につけ、自分や身近なことについて理解したり伝えたりすることがおおむねできる。	英語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身につけ、自分や身近なことについて理解したり伝えたりすることができない。			
評価項目2	高等学校指導要領に示されているレベルの文法事項や構文語彙を習得し英語表現に利用することがよくできる。	高等学校指導要領に示されているレベルの文法事項や構文語彙を習得し英語表現に利用することができる。	高等学校指導要領に示されているレベルの文法事項や構文語彙を習得し英語表現に利用することがおおむねできる。	高等学校指導要領に示されているレベルの文法事項や構文語彙を習得し英語表現に利用することができない。			
評価項目3	英文を正しく音読することがよくできる。	英文を正しく音読することができる。	英文を正しく音読することがおおむねできる。	英文を正しく音読することができない。			
評価項目4	学習内容をふまえて英語で自己表現がよくできる。	学習内容をふまえて英語で自己表現ができる。	学習内容をふまえて英語で自己表現がおおむねできる。	学習内容をふまえて英語で自己表現ができない。			
評価項目5	英語運用能力向上のために、精読、速読、多読等のスキルを高めることにたいへん成功した。	英語運用能力向上のために、精読、速読、多読等のスキルを高めることに成功した。	英語運用能力向上のために、精読、速読、多読等のスキルを高めることにわりと成功した。	英語運用能力向上のために、精読、速読、多読等のスキルを高めることができなかった。			
評価割合							
	試験	発表	相互評価	自己評価	課題	小テスト	合計
総合評価割合	50	20	0	0	20	10	100

基礎的 能力	50	20	0	0	20	10	100
專門的 能力	0	0	0	0	0	0	0